

9月例会報告 「七時雨山ななしぐれやま」 岩手県 1,063m 担当：葛西 直子

期日： 2023年9月23日（土）6：00～

参加： 櫻田、及川、福田、石井、会津、白戸、齋藤、佐藤、山下、磯谷、柳谷、沖崎、大柳（体験）、葛西（担当）

朝6時に青森IC入口集合。暑い日が続いたもの、数日前に降った雨で秋めいた空気と入れ替わったのか朝は寒いぐらい。当会ホームページを見たという若い大柳和也さんの体験参加もあり、総勢14人のちょっとしたパーティとなったため、10人乗りレンタカーのほか櫻田会長に自家用車を出してもらいました。

登山口は田代平高原の駐車場と七時雨山荘の二カ所。トイレのある田代平駐車場を選び7時30分ごろ到着、同50分スタート。一日に七回も雨が降るほど天候が変わりやすいというのが七時雨の名前の由来だそうです。この日は風もなく絶好の登山日和。朝露の降りた草原を歩き始めてまもなくぬかるみポイントがあり、泥んこに登山靴が泣く。七時雨山荘からスタートするべきであったとすぐに後悔、判断ミスでした。2合目まではほぼ平坦な草原の道。牛が放牧されていたというが今は牧草を育てているだけらしい。高原野菜の畑もあり、いずれ肥料となる残念な大根たちがまばらに転がっていた。

3合目から樹林帯に突入。木の根っこが階段のようになった登山道を、小休止をはさみながらにぎやかに進み、9時57分には急に開けた北峰山頂に着いてしまった。素晴らしい眺望。岩手山、早池峰山や姫神山がきれいでした。北峰より3ヶ所高い隣の南峰へは、行きますチームと以前行ったことがあるので「今回はいいです～」のまったり待機チームのふた手に分かれる。デポしたザックをまったりチームに預け、行きますチームが身軽になって出発。往復約30分。南峰山頂から、まったりのみんなが見えて、面白半分に写真を撮ってみるも遠すぎてボケボケ。北峰に戻り、遮るものがない日当たり抜群の山頂で、いい空気と景色をご馳走に早めの昼食。名物コーヒーも振舞われました。

11時17分に下山開始。登りの道中と休憩中にはほかの登山者とまったく行きあうことがなく、空いているのだから貸し切りだと笑っていたのに、下りでついに数人と遭遇。こんな晴天に誰も来ない訳ないよね。12時45分、スタートした駐車場に無事ゴール。入りたかった新安比温泉静流閣へ向かう。温泉でリフレッシュした後は一路帰宅の途へ。順調な帰着を果たし、明るいうちに解散できました。みなさんお疲れさま。どんとはらい

レポート by 葛西直子



2合目まではほぼ平坦な草原の道



3合目から樹林帯に突入





クサギの実



にぎやかに進み時々小休止



コンギク (野紺菊)



北峰山頂 (1,060m) で記念撮影



南峰山頂から、まったりのみんなが見えて、面白半分に写真を撮ってみるも遠すぎてボケボケ!



南峰山頂 (1,063m) で記念撮影

10月例会案内 「秋田駒ヶ岳」 秋田県 1,637m 担当：及川 功

1. 日時：10月7日 (土) 5:30～
2. 集合：青森インター駐車場 5:30
3. 移動：レンタカー
4. 会費：5,000円 (8合目迄のバス代含む)
5. 締切：9月30日 (土) 17時
6. 申込：白戸三和子さん TEL 718-1574
7. その他：温泉用具持参 **紅葉期待!**

※先月号で案内済みです



男岳の頂上から男女岳 (1,637m) を望む

秋田駒ヶ岳は最高点の男女岳をはじめ、男岳や女岳、横岳、小岳などを総称した火山地形の山。高山植物の宝庫で、ニッコウキスゲやタカネスミレ、コマクサなどが梅雨から夏の終わりまで開花する。時間があれば、北東へ伸びる稜線をたどって烏帽子岳 (乳頭山) まで行けば、より充実した山行になるはずだ。